

令和8年4月1日施行

1. 目的

愛知学院大学及び愛知学院大学短期大学部（以下「本学」という。）は、建学の精神「行学一体・報恩感謝」に基づき、真理の探究と学理の応用に努め、深く専門の学芸を教授研究し、その普及と実践を通じて社会に貢献することを目的としている。

これら本学の目的を達成するうえで、研究データの適切な取り扱いは学術の発展と社会的信頼の確保に不可欠であり、研究者の倫理的責任と学術研究機関としての公共的役割の両立を図るものである。このため、本学が備えるべき研究データの管理・公開・利活用に関する基本方針を示した研究データポリシー（以下「ポリシー」という。）を以下のとおり定める。

2. 研究データの定義

本ポリシーにおける「研究データ」とは、本学の研究活動の過程で収集または生成された情報を指し、デジタル・非デジタルを問わない。

3. 研究者の役割

本学の構成員であって、研究に携わる者（以下、「研究者」という。）は、研究データを適切に管理・保存することが、優れた研究を行ううえで必要不可欠であると認識する。

4. 研究データの管理等

研究データを収集または生成した研究者は、その管理、公開および利活用の方法を、法令や関係する学内外の規則等の範囲内、ならびに他者の権利および法的利益を害さない範囲内において決定することができる。

5. 研究データの公開と利活用

研究者は、それぞれの研究分野における特性を踏まえ、法令や関係する学内外の規則等によって制限される場合を除き、可能な限り研究データを公開し、その利活用を推進する。

6. 学術研究機関としての本学の役割

本学は、研究データが、論文等と同様に今後の学術や社会の発展に貢献する知の基盤の一つであるとの認識に基づき、研究データの管理・公開および利活用とその環境整備に努めるとともに、研究者を支援する。

7. ポリシーの改訂

本学は、社会や学術状況の変化に応じて、適宜、本ポリシーの見直しを行うものとする。

附 則

このポリシーは、令和8年4月1日から施行する。